



人類はひとつ 世界中に友情の橋をかけよう

MANKIND IS ONE - Build Bridges of Friendship Throughout the World



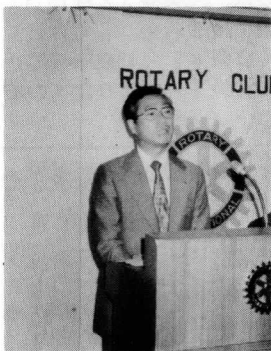
会長 中江 亮 幹事 佐藤元伸 副会長・クラブ奉仕 川村徳男 職業奉仕 嶺岸光吉 社会奉仕 山口篤之助 国際奉仕 黒谷正夫 青少年奉仕 津田晋介

出席報告：会員70名 出席57名 出席率81.43% 前回出席率74.29% 修正出席62名 確定出席率88.57%

ゲストスピーチ

内川の改修について

鶴岡市建設部長 阿宗 隆氏



8月も今日で最後となり、明日から9月に入るわけですが、9月と云う月は、我々建設行政を担当する者にとっては、秋雨前線による集中豪雨や台風シーズン到来と云うことから災害発生のおそれのある月になります。それで今日の話題を「内川の河川改修について」にいたしました次第です。

鶴岡市の母狩、金峰山系に集中豪雨があった場合、この地区に降った雨水は四万田川、谷定川、山谷川滝沢川の4河川に流入し、いずれも青竜寺川にそいでおります。

改修計画は確率 $\frac{1}{50}$ で計画されておりますが、この地域の洪水流量は $170 \frac{t}{sec}$ となっております。現在の青竜寺川の流下能力は、この河川が農業用のかんがい用河川として整備されたためあって、 $35 \frac{t}{sec}$ ～ $40 \frac{t}{sec}$ の能力しかないのであります。 $170 \frac{t}{sec}$ もの洪水流量を流下させる河川改修は、現在の青竜寺川の位置、家屋のはりつき状況からみても、河川改修が困難であります。それで四万田川、谷定川、山谷川迄の3河川の洪水流量 $110 \frac{t}{sec}$ を青竜寺川から内川に放水路を設けて分水する計画になっており更に平野部の雨水の流入も加わって、外内島地内島影橋附近で $140 \frac{t}{sec}$ の洪水流量になります。この、 $140 \frac{t}{sec}$ の洪水流量を市街地を貫流する内川に流下させないで、市街地東側にショートカットした新内川に全量流下させ、市街地を水害から守る計画になっており、内川改修の使命が従来の平野部の雨水排除だけでなく母狩、金峰山系の雨水排除の役目を担っておるのであります。

内川の下流部赤川との合流点から西三河橋間、延長1km区間については、建設省が改修を担当しており、左岸の護岸は完成し右岸を整備中であり、今後の問題点としては羽越本線の鉄橋部分の拡巾と河床

の掘下げが残っております。

西三河橋から櫛引町丸岡部落間、延長13km区間については、山形県が改修を担当しており、着工が昭和36年からになっておりますので、今年で21年目を迎えております。

この全体事業費(56年換算)は10,544百万円の巨額となっております、56年迄の投資金額は5,317百万円(56年換算)、実質投資額3,592百万円となっております。今年度は423百万円の予算で、外内島から中橋部落区間約1.8kmの護岸工事と上中橋橋を施工中であり、残延長は2.4kmになります。

青竜寺川からの放水路の完成目標を昭和60年においておりますので、それ迄には島影橋附近の分水工と青竜寺川からの分水工を完成したいものと考えております。

島影橋附近の分水工は、市内を流れる内川への洪水の流入を阻止するだけでなく、渇水時の都市河川の維持用水確保の上からも重要な施設であり、この施設完成後には流量配分をしながら市街地の内川を鯉が遊泳する河川に整備してゆきたいものと考えており、更には内川の水質を保全するために公共下水道の整備も進めておりますので、市民の方々からも一日も早く水洗化をされ、下水道を使用して家庭の雑排水を内川に流さないようご協力をお願い申し上げておる次第であります。

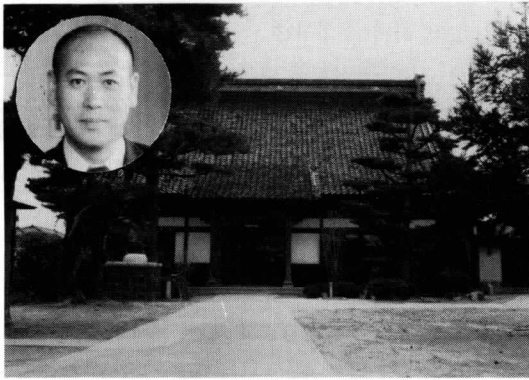
会長報告

中江 亮君

1. 本日の臨時理事会で議決された件についてご報告します。
 - (1) 過日の長崎市の大水害に対して当クラブから10万円を送金しお見舞い申し上げることにしました。
 - (2) 鶴岡市の姉妹都市ニューブランズ ウィック市を鶴岡市長ご一行が訪問される事になっておりますが、当クラブから直前会長の新穂光一郎君が之に加わって、クラブ代表と云う形で姉妹クラブのニューブランズ ウィックR.C.と接触をしていただく事に決りましたが、おみやげ代として5万円をおあげ致しました。
 - (3) 来年5月1.2.3日の3日間鶴岡西R.C.がホストをつとめられる地区R.Y.L.A.研修会のカウンセラーとして当クラブからインターアクト委員長の藤川享胤君を委嘱しました。

庄内空港の建設を推進しましょう

職 場 紹 介



私の職場(?)般若寺は、山号を大宝山といい、今から約800年前平安時代の末期に天台宗の寺院として建立されました。当山に伝わる大宝山般若寺の記によると、文治元年(1185)の春、佐藤入道秀衝が両親の菩提をとむらうために天台宗の開祖である最澄

の弟子・慈覚大師の作といわれる釈迦牟尼仏と藤原期の名工とうたわれる仏師定朝作の阿弥陀如来とを本尊として般若寺を建立したとされております。しかし時代の変遷並びに為政者の交代等により寺領の大幅な削減にあい、荒廃の一途をたどっていたところ、元龜元年(1570)8月庭園で有名な羽黒の五川寺10世・一法宗音大和尚が曹洞宗の寺院として復興し開山になられ、今日に到っておる次第であります。以来私の師匠が般若寺33世になっております。

現在般若寺は、旧市内の蓮台院・宗伝寺・林泉寺・保春寺を含め21ヶ寺の末寺を持ち、檀家数も600を越えております。

ロータリアンの檀家としては、早坂源四郎さん、張紹淵さん、佐藤忠さん、三浦悌三さんがいらっしゃいます。

当山の一年間の主な法要は、涅槃会(2月15日)仏誕会(4月8日)、開山忌、大般若会(5月8日)両祖忌9月29日、成道会(11月8日)、両彼岸会等があり、いづれの法要も私が説教をしておりますので会員の皆様ぜひ御来山下さい。合掌。

(4) 長年鶴岡高専校インターアクトクラブ顧問教師としてご尽力されました篠崎先生を地区表彰該当者として推薦しました。

(5) 年次大会に参加のため来訪される台中港区姉妹クラブの方々のクラブ歓迎実行委員長として黒谷正夫君にお願いしました。

2. 庄内分区分I.G.F.が来る9月5日に行われますがそれぞれの部門について自主研修をされ、当日は十分発言されまして、意義あるフォーラムにされますようお願い致します。

3. 会員染野檀君のお母さんが先日亡くなられました。クラブから規定に基きおくやみを申し上げます。心からご冥福をお祈り致します。

4. 年次大会の出欠調べを先にお願いましたが、まだ出していない方はここ2、3日中に山下さん迄必ず提出して下さい。

幹 事 報 告

佐藤元伸君

1. 例会変更 立川R.C.
9月2日(木)の例会=9月2日 P.M.12:15
庄内ドライブイン 移動例会の為
2. 残暑御見舞 酒田R.C.
3. R.I.第253地区ローターアクト第9回年次大会ご案内 山形R.A.C.のホスト 10月10日・11日
山形市少年自然の家
4. ローターアクト委員長会議
昭和57年9月14日(火) P.M. 5:30 集合
9月15日(水) A.M.11:30 解散
会場 福島県東山温泉 不動滝
秋野ローターアクト委員長出席予定

委 員 会 報 告

1. S.A.A.委員会 石川寿男君
奇数月の第1例会に皆様の席を指定する。

9月から実施しますのでご協力をお願いします。

2. ガバナー事務所報告 小松広穂君

石黒ガバナーは去る8月28日、いわき平東のロータリークラブ公式訪問の時、4時30分頃、出入口で足がもつれ、急遽同市・竹林病院に入院されました。翌29日奥様と若先生と共に鶴岡の自宅に帰られ、昨日庄内病院で精密検査が行われました。その結果急所から1cm離れた動脈の一部に0.24%位破れた所があり、1週間程経過を見れば大体の判断がつけられるとのこと。しかし1ヶ月程の静養が必要とのこと。ガバナーは、公式訪問、年次大会の事等に大変御心配をされておりますが、事務局としては、9月中の公式訪問は来年の1月にさせて頂き、10月初めの地区大会に元気な御姿で御出席頂くよう1ヶ月間の御静養をおすすめしております。

現在のところ、話し方は普通と何も変らぬ程お元気ですが、左の手足が若干御不自由なようです。事務局として途方にくれているというのが実感ですが、皆様の御協力をお願いします。

3. ロータリー財団委員会 佐藤衛君

満78歳になられた早坂源四郎バスト・ガバナーは、第2回目のポール・ハリス・フェローの基金を贈呈されました。

ス マ イ ル

張 紹淵君 職場紹介に掲載されたので。

ビ ジ タ ー

鶴岡西R.C. 加藤有倫君
立川R.C. 滝 禅源君

(今週の担当者 石塚敏彦)